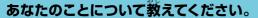
難民を助けることについてサイルとおしゃべり

ウィルはアメリカ合衆国ペンシルベ ニア州に住んでいます。ウィルが人 を助けるために行ったプロジェクト について、いくつか質問しました。





ぼくは 11 才です。 サッカーやラクロス, クッキーを焼くこと, 水泳, スキー, ローラースケートが好きです。ピアノとバイオリンをひきます。好きな色は紺 🌠 **一色で、好きな食べ物はたまごです(スクランブルエッグ、 首宝焼き、 ゆ** でたまで、全部大好きです!)。 大人になったら、お父さんのよう に医者になりたいです。



どうして助けようと思ったのですか。

多くの家族が安全を求めてほかの国からにげていると聞きました。その中 には、近くの地域に引っこして来ている人たちもいました。ぼくはすぐに、 「その人たちをどのように助けられるかな」と考えました。

どのように助けられるかを知るためにいのりました。すると、お母さんのと ころにステーク扶助協会から電子メールがとどきました。難民の家族に送る ものを寄付してください、と人々によびかけていたのです。いのりがこたえ られたと思いました!



ぼくはお菓子を焼くのが大好きなので(得意なのはクッキーです)、クッキーを売って難悦 の家族を助けるためのお金をかせぐことにしました。チラシを作り、ローラースケートで近 所を回って配りました。犬のココも一緒に行きました。

で、なべやフライパンを買って寄付しました。



どのような気持ちがしましたか。

これらの家族がそのなべやフライパンを 使って料理ができると思うと、良い気持ち がしました。新しい国に来たばかりの人 にとって、家庭で作った料理を食べること がどんなになぐさめになるか, ぼくには想 像することしかできません。

初等協会で、「あなたがたが同胞のためにつとめるのは、とりも なおさず, あなたがたの神のためにつとめるのである」(モーサ

ヤ2:17) と教わりました。ぼくと、ぼくの住む地域に引っこし

て来た人々に対する天のお父様の愛を感じました。



だれかを助けたいと思っている人に、 どんな助言をしますか。

ワードやステークで奉仕する方法をさがしてください。地元の 避難所で手伝いをすることもできます。人を助ける方法はどこ にでもあります!

